

## 第23回放射線利用総合シンポジウム実施要項

1. 実施日時：平成27年1月26日(月) 9:40～17:00
2. 会 場：大阪大学中之島センター (大阪市北区中之島 4-3-53)
3. 講演内容：講演数8 (別紙2)
4. 対 象：大学・公設研究機関・企業研究者および一般市民
5. 主 催：(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会  
(公大)大阪府立大学地域連携研究機構
6. 後援(申請中)：  
文部科学省、近畿経済産業局、(独)日本原子力研究開発機構  
(一財)大阪科学技術センター、大阪商工会議所  
堺商工会議所、(財)電子科学研究所
7. 協賛(申請中)：  
(一社)日本物理学会 他26学協会

\*参考資料：「第22回放射線利用総合シンポジウム(前回)」案内チラシ

\*社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会ホームページURL

< <http://onsa.g.dgdg.jp> >

\*社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会のEメールアドレス

< E-mail: [onsa-ofc@nifty.com](mailto:onsa-ofc@nifty.com) >

## 第23回放射線利用総合シンポジウム プログラム

主催：一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会  
公立大学法人 大阪府立大学地域連携研究機構

開催日時：平成27年1月26日(月) 9:40-17:00

開催場所：大阪大学中之島センター(北区中之島4丁目3-53)

開会挨拶 大阪ニュークリアサイエンス協会会長 豊松 秀己

1. 宇宙と放射線  
大阪府立大学 地域連携研究機構 放射線研究センター 教授 谷口良一
2. ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の将来展望—加速器BNCTが切り拓く癌治療—  
京都大学 原子炉実験所 粒子線腫瘍学研究センター 教授 鈴木 実
3. [ONSA 賞受賞講演] 放射光その場観察を利用した新しい水素貯蔵合金開発

日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門 研究員 齋藤寛之

< 昼食 >

4. 次世代放射光XFELとERLの現状  
若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部 レーザー除染チーム 嘱託研究員 峰原英介
5. 研究用原子炉は何の役に立つのか?  
京都大学 名誉教授 代谷誠治

< 休憩 >

6. 手元で使える中性子源RANSの取り組み  
理化学研究所光量子工学研究領域 中性子ビーム技術開発チームリーダー 大竹淑恵
7. ゲリラ豪雨や竜巻を瞬時に把握—世界最高性能の気象レーダを開発—  
大阪大学 大学院工学研究科 電子電気情報工学専攻 准教授 牛尾知雄
8. 文化財と放射線・電磁波—透視・修復・解析—  
東京文化財研究所 客員研究員 中條利一郎

閉会挨拶 大阪府立大学地域連携研究機構 放射線研究センター長 奥田 修一

< 交流会 >